

富士通アイ・ネットワークシステムズ

森 弘好 部長代理



[富士通アイ・ネットワークシステムズ] VoIP導入効果を最大限まで高める IP Pathfinderが企業ネットに革新

TCO削減、業務効率化、生産性向上——。これらは企業がクリアすべき大きなテーマとなっている。富士通アイ・ネットワークシステムズは、フルIPネットワークで音声・データ統合を実現する新しいコミュニケーションシステム「IP Pathfinder」で、こうした企業の課題解決だけでなく新しいビジネススタイルの創造も強力に支援していく構えだ。

企業の間では、通信キャリア各社が提供するIP-VPNや広域イーサネット、ブロードバンドアクセスなどのサービスが普及してきたことで、VoIPネットワークの構築が進んでいる。これまではWAN回線への導入が中心だったが、このところは業務効率化・生産性向上に向けて、オフィス内のLAN回線も含めた“フルIPネットワーク”で音声・データ統合を実現しようという動きも高まりつつある。

こうした市場の流れを捉え、富士通ア

イ・ネットワークシステムズが6月26日にリリースしたのが「IP Pathfinder」だ。

PBXのよさをIPに完全移植

IP Pathfinderは、同社のメインプロダクトだった大容量PBX「ES3300 i・force」の後継に位置付けられるが、これまでのPBXの進化と大きく異なる点は、局線側・内線側ともにフルIPのコミュニケーション環境を実現したこと。これにより、IP電話機間はオフィス内、拠点間を問わずIPワンリンクで接続し、高品質な通話を実現する。

システムの核となる「Center Server」は、従来のPBXが持つ多彩な機能、操作性、信頼性を完全継承。また、VoIPゲートウェイ機能を内蔵したことで、既存の電話端末とIP電話機を混在させたオフィス環境も構築できる。

機種ラインナップは、容量別に400クライアントに対応する一重化システム「モデル30S」から1万6000クライアントまでカバーする二重化システム「モデル80D」まで9モデルを揃えた。さらに、複数システムの連携機能を利用すれば最大で256万クライアントを収容することが可能だ。

電話端末としては、従来からの操作性を継承したIP多機能電話機「i-station30A」およびIP多機能ソフトホン「i-station30SP」を用意。さらに、高速無線LAN規格のIEEE802.11aに準拠するIP電話端末もラインナップする予定。これにより、ワイヤレスオフィスでもフルIP環境が実現されることになる。

アプリ連携をパッケージ化

IP Pathfinderは、音声・データ・画像などマルチメディアコミュニケーション環境と業務アプリケーションとの連携にも力を注いでいる点が大きなポイントとなっている。その理由について、富士通アイ・ネットワークシステムズ・システムサポート事業部VOIPサポート部の森弘好部長代理は、次のように説明する。「フルIPシステムの本当の価値はアプリケーションとの連携にあります。そうすることで、お客様はTCO削減だけでなく業務効率化・生産性向上も実現することができるからです」。

具体的なソリューションとしては、一般オフィス向けではユニファイドメッセージ、ビジュアルコミュニケーション、デスクトップコラボレーション、オンラインコミュニティ、グループウェア連携等々を提供する。

また、いくつかの業種別アプリケーションとの連携も視野に入れている。

自治体の窓口業務向けパッケージでは、PC間のテレビ電話機能とWeb画面

共有を同時に実現するもの。支所を訪れた住民に対して本庁の職員が同じPC画面を見ながらリアルタイムに相談を受けることができる。在宅ケア支援システムでは、保健・医療・福祉施設と高齢者宅をIP網で結び、音声・画像・データによる遠隔介護や遠隔医療を可能にする。

eラーニング向けシステムでは、音声通信・ビデオ配信・Web共有などを駆使し双方向の遠隔教育を実現する。

さらに、今日、企業で重要なテーマとなっているCRMにおいても、Eメールやモバイルなど多様なチャネルにも柔軟に対応するWebコンタクトセンターの構築も強力に支援する。

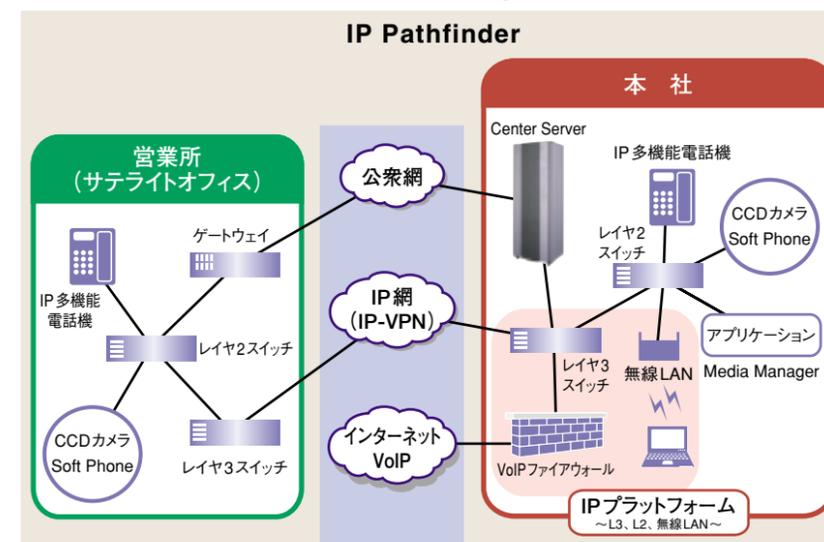
同社では今後、富士通グループやサードパーティなどと積極的にアライアンスを組み、さまざまな業種・業務に適したアプリケーション連携の形を作り出していく考えだ。

運用・保守まですべてサポート

森部長代理によれば、「IP Pathfinder」という名称は今回リリースされた新しいシステムだけを指すのではないという。「企業ネットワークにおいて音声・データ統合を実現するためのすべてのコンポーネントを提供することが、当社のIP Pathfinderというソリューションなのです」。

例えば、レイヤ2/レイヤ3スイッチ、無線LANシステムでは、音声品質を確保するための「優先制御」「帯域制御」に対応した製品を用意している。ネットワークセキュリティ製品では、ファイアウォールが構築された環境でも、音声パケットを透過する仕組みやNAT機能を提供するVoIP対応ファイアウォールを提供していく。このように、同社が提供するソリューションは、単に音声をIPネットワークに乗せるというのではなく、

IP Pathfinderコンポーネント enterprise network for VoIP



PBXメーカーならではの高品質・高信頼の音声通話を前提としたフルIPネットワークを実現するものなのだ。

企業にとってのメリットはこれだけではない。富士通アイ・ネットワークシステムズでは、「iサポート」と名付けた、ネットワークの設計・構築・導入から運用・監視・保守にいたるトータルなサポートサービスも提供する。

森部長代理は、「音声系・データ系両方の高い技術力、SI力、豊富なノウハウをベースにした当社のサポート体制によって、お客様は大きな安心感を得ることができます」と説明する。

次世代のIP環境にも対応

今の企業にとって、ネットワークシステムがビジネスの発展を左右する重要な要素であることは間違いのないだろう。しかしながら、「既存の設備を無駄にしてまでネットワークを更新すべきかどうか」の判断はなかなか難しいのも事実だ。

こうしたユーザー側の事情にも、IP Pathfinderは十分な気配りをしている。従来機種「ES3300 i・force」にアップグレードキットを追加すれば、IP

Pathfinder機能をすべて利用できるという“マイグレーション・パス”が用意されているのだ。「つまり、お客様は既存資産を有効活用しながら、最先端のVoIPシステムを導入することができます」(森部長代理)。

また、富士通アイ・ネットワークシステムズでは今後、スイッチやルーターなどLAN/WAN機器と設置スペースを共用できる19インチラック対応モデル、中小規模事業所のフルIP化を実現する小容量タイプなども投入し、より幅広いニーズに応えていく。

さらには、新しいVoIPプロトコルSIPやIPv6のサポートといった、次世代のIP環境へのステップアップにも対応できる機能拡張も図ることで、企業ネットワークの進化を強力にバックアップしていく考えだ。

お問い合わせ先

富士通アイ・ネットワークシステムズ
営業支援部推進部
TEL: 03-5739-3030
テクニカルアシスタンスセンター
TEL: 044-739-6098
E-mail: finet_tac@finet.fujitsu.com
http://www.finet.fujitsu.com/